



事件か、事故か。死んだ娘の親友は悪魔でした。

5月21日

咲が将来の目標を話してくれた。誰にも話してはいけないことを、私に話してくれた。

6月7日

今日はお母さんの命日。お父さんと、酔っ払ってお母さんの話を聞いた。昔はお母さんがお父さんに話していたのが嫌だったけれど、泣かなくなった。なんかお母さんの事を忘れたんじゃないかと、少し悲しい。

7月12日

最近、咲と真帆が冷たい気がする。それは私が咲と話しているといつも機嫌が悪い。真帆はたぶんお母さんの事が嫌いなんだと思う。でも咲は何で怒っているんだろう。何に怒っているのかも、さっぱりわからない。私に何かした？

7月13日

私の勘違いなのか、それとも嘘をつかれたのか？2時間も待ったのに、咲も真帆も来なかった。しかも携帯の電源切ってたし、留守電入れても何もなかった。なんでこんなことになったんだろ。

7月15日

今日は、一日公園で本を読んだ。お母さんにかく咲と話したい。

7月20日

もうマジで嫌になる。もっと早く他のグループに移っとけば良かった。今更に入組めるグループなんて無いだろうけど、このまままだお母さん完全にハズレになっちゃった。

7月23日

女子校なんて行くんじゃないか。転校したい。

9月15日

咲に死ねって言った。

9月18日

お母さんを殺したのが私なら、私が死んでもお母さんは悲しまないかもしれない。なんで生まれてきたんだろう？私がいなければ、お母さんは今も生きていたかもしれないのに。

10月12日

何かもう全部疲れた...

罪の余白

内野聖陽 吉本実憂

谷村美月 葵わかな 宇野愛海 吉田美佳子 堀部圭亮(友情出演) 利重剛 加藤雅也

監督・脚本:大塚祐吉 製作:安達禎文 河内功 プロデューサー:二村慈哉 撮影:Ivan Kovac 照明:守屋火災弥 録音:沼田和男 美術:村上輝彦 衣装:野村明子
音楽:鈴木ヤスヨシ 音楽プロデューサー:花崎雅芳 企画制作:TOKYO MX 制作:BS11 制作プロダクション:イープロジェクト
主題歌:金魚わかな「ダブルバインド」(アルテミス) 原作:「罪の余白」芦沢央(角川文庫)
特別協賛:株式会社エスタックス 配給・宣伝:ファントム・フィルム 宣伝協力:オデッセイア 製作:2015「罪の余白」フィルムパートナーズ
2015年/シネマスコープ/120分/5.1CH SURROUND SOUND ©2015「罪の余白」フィルムパートナーズ

10.3 [Sat.]

なぜ娘は死んだのか？衝撃の真実が父の心を暴走させる、究極の心理サスペンス

映画史上 最も危険な対決

野性時代フロンティア文学賞受賞作、
衝撃の映画化!

娘を亡くした父親

安藤 聡

「刑務所にぶちこんでやるからな！」
絶望のあまり暴走していく
行動心理学者の父親

命を弄心邪悪な女子高生

木場 咲

親友を追いつめ教師や友人を
支配する女子高生

心理を研究する者 vs 心理を操る者
追いつめるか、追いつめられるか



一人娘の謎の死。なぜ娘は死んだのか?自殺か?事故か?

名門女子校で、一人の少女が教室のベランダから落ちて死亡した。なぜ娘は死んだのか?自殺か?事故か?

行動心理学者の安藤は、娘の異変に気づけなかった自分を責める。そんな折、娘の死に涙する美しいクラスメート咲が現れ、娘が日記をつけていたことを知る。だが咲は、教師、生徒、警察の心を操り、スクールカースト頂点に君臨する狡猾で残忍な悪魔だった。自らの罪を隠蔽するため、安藤を罠に陥れようとしていたのだ。娘の遺した日記から真相を知った安藤は咲に復讐を誓う。だが娘を愛するあまり暴走していく安藤は、逆に追いつめられていく。

父の狂気へと走る心と、女子高生の悪意をサスペンスフルに描く、衝撃と極限、自己愛と親子愛、罪と償いの心理戦!!

追いつめられていく“被害者の家族”主演内野聖陽vs追いつめこむ“加害者”若手女優吉本実憂が対決し、罪の概念を打ち砕く、驚愕の心理サスペンス!

安藤加奈
[安藤の娘]
咲と仲良くしたい



新海真帆
[クラスメート]
咲に心酔している



笹川七緒
[クラスメート]
咲を警戒している



小沢早苗
[安藤の同僚]
咲の本性に怯える



tsuminoyohaku.com

10月3日(土)ロードショー

7/18(土)よりムビチケカード¥1,400(税込)販売開始! ※当日一般¥1,800の処
※ご購入求めの方にオリジナルポストカードをプレゼント! 特典はなくなり次第終了。

JR新宿駅東口徒歩5分
歌舞伎町“ゴジラヘッドが目印のビル”3階

TOHOシネマズ 新宿

050(6868)5063 www.tohotheater.jp